



多久市立 東原彦舎 (とうげんしょうしゃ) 中央校 (義務教育学校)

おへそ

学校便り No. 3 令和5年6月7日

夢に向かって生き生きと輝く児童生徒の育成

—地域と共に伸びゆく中央校をつくろう—

【学校訓】 希望・自覚・鍛練・恕 文責 校長 田代 豊

令和5年度 中央校体育大会

5月29日(日)令和5年度東原彦舎中央校体育大会を開催いたしました。当日は、多くの保護者や地域の皆様、ご来賓の皆様にご観覧をいただきました。心よりお礼を申し上げます。

ここ数年は、コロナウイルスの影響で入場制限等の感染対策をとってまいりましたが、今年度は、入場制限やマスクの着用を求めない形での開催となりました。駐車場不足や入場者の混雑、バスによる送迎等、運営面で心配した点もございましたが、おかげさまで大きな混乱や事故等もなく大会を終えることができました。これは、大会の運営にご理解とご協力をいただいた保護者や地域の皆様、そして、お力添えをいただいたPTA役員の皆様のおかげだと感謝申し上げます。

体育大会は、学校と保護者、地域が一体となって取り組む大きな学校行事です。また、大会本番や練習を通して児童生徒の主体性や一体感を育んだり、何事にもチャレンジし粘り強く取り組む態度を育んだりする行事として学校教育の中で大切な役割を担っています。体育大会の運営のあり方は時代と共に少しずつ変化してきています。しかし、それでも体育大会だからこそ育むことができる子どもたちの姿があり、これからも義務教育学校として全校児童生徒と教職員が関わりながら一つのものを作り上げることができる学校行事として大切にしていきたいです。

今年の体育大会のテーマは「努来勝 ～限界突破で青春爆発～」 各団テーマは、赤団「力戦奮闘」、黄団「煌華蝶輝」、青団「飛龍闘魂」でした。大会本番や練習を通して、子どもたちが生き生きとした表情で競技し演技する姿をたくさん見ることができました。また、応援団の団長を含め、多くの児童生徒がそれぞれの役割を精一杯に果たそうとする姿も見ることができました。人と関わりながら一つのものを作り上げることの難しさや良さを実感してくれたのではないかと思います。多くの子どもたちが成長の足跡を残してくれた体育大会となりました。



今年の体育大会は2位だったけど、ぼくは、みんなで一致団結して一生懸命声を出すことができました。2週間かけてみんなで考えた応援合戦。練習を頑張って本番にのぞきました。本番では、練習してきたことを全て出し切ることができ、チームワーク賞をもらうことができてよかったです。一生忘れることができない体育大会になりました。

赤組団長 6年1組 洲上 瑛翔

私は、今回黄組の応援団長をして、みんなで一から応援歌を考える大変さや自分が先頭に立ち1年生から6年生をまとめることの難しさを経験しました。本番では、一人一人が一生けんめいに声を出して絶対に応援大賞をとるという気持ちが一つになり、今までで一番素敵な応援ができました。そして、応援大賞をとることができ、とても嬉しかったです。黄組の応援団長をすることができて黄組の団員みんな、ついてきてくれてありがとう。

黄組団長 6年2組 寶藏寺 玲愛

私は、青団の団長をしてみても、人をまとめる力がついたなと思いました。私たち応援団だけで勝ち取ることはできなかったと思います。1位はとれなかったけど、アイデア賞というみんなで勝ち取った賞があります。みんなで団結してアイデア賞をとれたのでよかったです。前期最後の体育大会が青団でとてもよかったと思いました。

青団団長 6年3組 水田 明日香

ぼくが団長になったきっかけは、最後の体育大会だからこそ自分が団を引っ張っていきたいという思いがありました。また、これまで挑戦から逃げてきた自分の弱い気持ちを克服し成長したいという思いで団長になりました。初めは、自分ができるのかなと不安でしたが、副団長や応援リーダーの支えもあり自信をもち赤団が一つになれたと思います。優勝を手にすることはできませんでしたが、自分の中では赤団が一番だと思っています。ぼくは、この体育大会で自分の中の大きな壁を一つ超えられたと思います。

赤団団長 9年1組 永石 瞬汰朗

後期黄組応援団長を務めた鶴 梨々輝です。今年の体育大会スローガンのように、黄団全員が全力で盛り上がったと思います。応援練習では、最初は不安しかありませんでした。けれども本番では、団員みんな声が出ていて、これまでで一番の応援合戦でした。励ましの言葉かけなどが多く聞こえ、みんなの気持ちが一つになって絆ができた感じがし、とても嬉しかったです。今までで最高の体育大会にすることができ、一番の思い出になりました。黄団のみんな、ありがとう！

黄組団長 9年2組 鶴 梨々輝

今年の体育大会は、昨年とは違いみんなでパフォーマンスをすることができたので、私は一体感のある団を目指して頑張りました。振りを言葉で説明するのは難しかったですが、青団の一人一人が話を聞いて覚えようとしてくれたおかげで、本番では練習以上の力が発揮でき、青団全員で最優秀賞をとることができとても嬉しかったです。総合優勝はとれず悔しい結果だったけど、思い出に残るいい経験ができてよかったです。青団のみんなありがとう。

青団団長 9年3組 原田 彩